

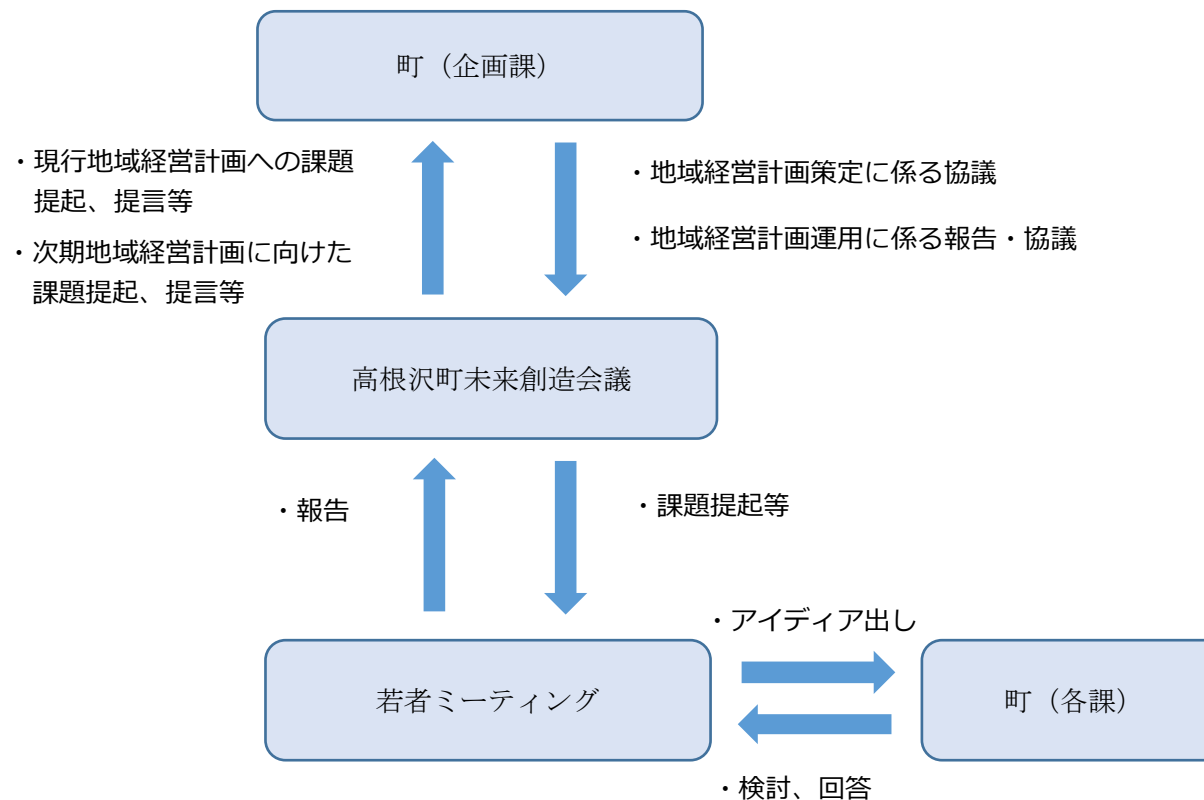
「高根沢町若者ミーティング」の取組について

1 若者ミーティングについて

- ・町政運営への若者の参画を促進し、若者の柔軟な視点や自由な発想による意見を反映するため、「高根沢町若者ミーティング」を設置
- ・令和7年7月にメンバー(委員)を募集⇒8名から応募あり
- ・メンバー構成：男性3名、女性5名(10代：1名、20～24歳：2名、25歳以上：5名)

※大学生、仕事の都合で他県から転入、Uターン、他県在住で将来Uターンを希望

<イメージ>



(1) 第1回若者ミーティング

開催日 令和7年8月20日(水) 19時～21時

出席者 8名

内容 町長との意見交換

主な意見

- ・情報発信の強化、SNSの活用
- ・シティプロモーション、ブランド力向上
- ・まちづくりの拠点となるコミュニティスペースの整備

(2) 第2回若者ミーティング

開催日 令和7年11月13日(木) 19時～21時

出席者 7名

内容 情報発信事業について

- ・町の情報が、(町内外問わず)届けたい人に届いていないのではないか?」、「より情報が伝わりやすい工夫が必要ではないか?」という課題に対し、SNS等のツールを活用するとともに、行政目線だけでなく、若者目線での情報発信を行うことで、「町民の愛着や誇りの醸成」を図っていく。
- ・事業を進めていくにあたっては、外部の有識者に動画制作や情報発信に係るレクチャーや助言をいただくとともに、継続性のある事業とするためにも、取材～編集～発信までの一連の流れをマニュアル化していく。
- ・事業のネーミングについては、各委員が案を提出し決定する。

(3) 第3回若者ミーティング

開催日 令和8年5月20日(水) 19時～21時

出席者 4名

内容 住民目線による情報発信事業のキックオフについて

- ・動画制作等に係る外部講師 ひばらさんのデザイン工房 檜原 朝美 氏
- ・情報発信事業のネーミングを「たかねざわ伝え隊」に決定。町内だけでなく町外からの認知度向上も見据え「たかねざわ」を「伝えたい(隊)」という思いを表現したもの。
- ・ターゲットは、町に無関心な層、広報紙やホームページ以上の情報がうまく伝わっていない層とし、町民を主とした若者や子育て世代、高校生等をイメージ。
- ・発信を行う媒体は主に Instagram (インスタグラム) とし、なるべく多くの人の目に留まるよう主にショート動画等を用いる。
- ・最初の投稿では若者ミーティングのメンバーを紹介し、活動の認知度を高めていくことからスタートする。
- ・メンバーの経験、スキル、趣向、参加可能性に応じた役割分担を行い、コンテンツ制作に着手していく。

2 若者ミーティング(2期生)について

若者ミーティング(2期生)の募集を6月1日(月)から町ホームページ等で開始しました。

【募集概要】

応募期限 令和8年7月15日(水)

応募要件 おおむね18歳～30歳で以下のいずれかの要件を満たす人

- ・町内在住または在勤の人
- ・町出身でまちづくりに強い思いのある人

開催時期 町長と意見交換を行う第1回若者ミーティングを8月中旬の平日夜に開催予定

高根沢町若者ミーティング 記録

1. 開催日時 : 令和8年5月20日(水) 19時00分～21時00分
2. 開催場所 : 高根沢町役場 第1・2会議室
3. 会議の議事 : 住民目線による情報発信事業のキックオフについて
4. 出席者 : 若者ミーティング委員4名

(事務局)

高根沢町企画課	課長	檜 山 史 進
	課長補佐	直 井 義 之
	係長	菅 谷 昌 孝
	主任主事	石 川 秀 幸

(講師)

○ひばらさんのデザイン工房

代表 檜原 朝美 氏 (高根沢探訪 WEB マガジン「たかマガ」運営者)

○For Good Design

代表 枘田 淳 氏

5. 会議の内容

●住民目線による情報発信事業の名称について

⇒・委員意見により「たかねざわ伝え隊」に決定。

・町内だけでなく町外からの認知度向上も見据え「たかねざわ」を「伝えたい（隊）」という思いを表現したもの。

●ターゲットの設定

⇒・町に無関心な層、広報紙やホームページ以上の情報がうまく伝わっていない層。

町民を主とした若者や子育て世代、高校生等をイメージ。

●発信するコンテンツ

⇒・主として町の施策やイベントに関する情報。合間に町のユニークなスポット等の紹介。

・町の人々の素顔が見られるよう、主に関係する人を紹介するような方法で発信する。

・最初の投稿では若者ミーティングのメンバーを紹介し、これを町広報紙やSNSでも発信して活動の認知度を高める案が有力。

・各メンバー毎にテーマを持って発信しキャラ付けしていく形。

●発信を行う媒体

⇒・主に Instagram（インスタグラム）。アカウント名：「たかねざわ伝え隊」

なるべく多くの人の目に留まるよう主にショート動画等を用いる。

●事業の進め方（今後の方向性）

⇒・メンバーの経験、スキル、趣向、参加可能性に応じた役割分担が必要。

発信するための素材収集（写真・動画など）を始め、コンテンツ制作に着手。

・町や他の地域情報発信主体と必要に応じて連携。

・町情報の発信の他、町民側から情報提供を募ることも可能性として挙げられる。

・情報発信を地域のコミュニケーション希薄化を解決する手段としても捉え、事業を継続して行うことで人々の連携強化につなげていく。